



昭和45年
開校

みどりの子 明るく やさしく 根気よく

緑が丘だより

第3号

令和元年7月発行
宇都宮市立緑が丘小学校
校長 影山 晃一

創立50周年をお祝いしました（6月8日）

本校は、昭和45年4月1日、陽南小学校から分離・独立し開校。始業式は、5年生以下の563人で行いました。開校内祝を5月2日に挙行し、創立記念日としました。



◇ 記念式典・記念音楽会

ご来賓、保護者、地域の皆様のご臨席を賜り、清新な中にも温かなお祝いの気持ちに包まれた式典でした。音楽会では、ブラスの響きを楽しむとともに、金管楽器を伴奏に校歌を合唱する貴重な体験ができました。実行委員をはじめ関係者のご協力に感謝いたします。



【ご来賓からのご祝辞：市長 市議会議員 市教育委員会教育長】



【感謝状贈呈：市教育委員会教育長 実行委員長】



【グリーンアンサンブル：演奏と鑑賞する様子】

◇ 記念式典 式辞から

式典での式辞を考えるにあたり、平成21年3月に発行された「陽南三地区の歴史—陽南・緑が丘・陽光—」から、改めて開校当時のことを学びました。

当時、校庭には木がなく、学校の西側は、魚が泳ぐ沼。子供たちは、水の上に並べた板の上を恐る恐る歩いて学校に来ていたこと。その様子を見て、家の人や地域の方は、自分の庭の木を掘り起こし、校庭に植えてくださったことなど、本校は、「私たちの学校」という思いで育てられ、支えられてきたことを実感しました。

この式典を機会に、学校のために、力を尽くしていただいた方へ感謝するとともに、本校を、さらに素晴らしい学校にするよう、児童に話しました。

本校の校歌には、3つの緑が歌われています。新しい日々の緑、美しく深い緑、心澄む清い緑。友達と、新しいことに挑戦し、深い友情で結ばれ、清らかな心を持ち、生活しましょう。そして、本校の合言葉、明るく、やさしく、根気よきの姿を、学校、地域へ広げることが、次の50年に向けた、私たちの役割であることを覚えておきましょう。

これまでのご労苦があるから今があり、さらに未来を拓く決意を新たにした1日でした。

本校を会場に研修会が開催されました（6月25日）

本年度、河内・芳賀地区で新たに採用された教員が、先輩の授業を参観する「学校会場研修」が本校を会場に開催されました。141人の初任者が、教員としての指導力を高めるため、本校の授業を参観し、教員の指導、児童の学習の様子から学んだことを記録しました。その後の授業研究会で、学んだことを共有したり、今後、どのように自身の授業に生かしたりするかを話し合いました。「みどりの学び」が広がり、「分かった」「できた」という児童の声が各地で増えることを期待しています。



考えをまとめているノートから、児童の学びをつかんでいます。



体育館では、理科の実験の授業を参観し、どのような結果になるかを予想しました。



児童の司会による話し合い活動を見て、意見の変化や深まりをメモしています。



研修のまとめでは、初任者代表が謝辞を述べ、本校へのお礼と学んだことを発表しました。